(平成29年4月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	<p>4月の青果物は、野菜では天候不順により前年同月比で入荷減となった。果実では、かんきつ類が寒波の影響を受けた前年同月を上回り、また中旬以降は気温の高い日が多くメロン類の出回りが増加したため、前年同月比で入荷増となった。青果物全体の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>5月の近郷野菜では、実えんどうや実山椒の入荷が最盛期を迎え、中旬からは青梅の入荷が始まる。</p> <p>果実では、晩柑類が終盤となり、ハウスマカンやマンゴー、桜桃等の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。</p>
野 菜	<p>野菜は、3月下旬以降の気温変動や天候変動により作柄が悪く、入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>根菜類は、入荷量は前年同月並みで、単価は8%上回った。</p> <p>葉菜類は、入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は前年同月並みであった。</p> <p>果菜類は、低温による生育不良から入荷量は前年同月比で9%下回り、量販の需要が弱かったため、単価も3%下回った。</p> <p>土物類は、北海道産の入荷量減少により入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は7%上回った。</p>
果 実	<p>果実は、これまでの好天及び中旬以降の気温上昇により生育が早まり、入荷量は前年同月比で12%上回り、単価は6%下回った。</p> <p>柑橘類は、入荷量は前年同月比で18%上回り、単価は3%下回った。</p> <p>リンゴ類は、産地在庫が多く前進傾向の出荷となり、入荷量は前年同月比で21%上回り、単価は23%下回った。</p> <p>イチゴ類は、入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は14%上回った。</p> <p>メロン類は、前進傾向の出荷となり、入荷量は前年同月比で33%上回り、単価は19%下回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長ダイコン</p> <p>西洋ニンジン</p> <p>タケノコ</p>	<p>長崎，鹿児島，滋賀から入荷された。低温のため太りが悪く入荷量は前年同月比で8%下回り，単価は前年同月並みであった。</p> <p>徳島を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で23%上回り，単価は前年同月並みであった。</p> <p>京都を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で23%下回り，単価は56%上回った。</p>
<p>【葉菜類】 ハクサイ</p> <p>キャベツ</p> <p>ホウレンソウ</p> <p>レタス</p>	<p>茨城，九州から入荷された。入荷量は前年同月比で20%下回り，単価は37%上回った。</p> <p>愛知，神奈川，兵庫，和歌山，九州，滋賀，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で11%下回り，単価は前年同月並みであった。</p> <p>徳島，福岡，岐阜，京都，滋賀を中心に入荷された。天候不順及び京都並びに滋賀，岐阜以外の産地の切上がりが早かったため，入荷量は前年同月比で16%下回った。また，量販の需要が弱く，単価も6%下回った。</p> <p>茨城，兵庫を中心に入荷された。各産地の入荷量が不安定なことに加えて加工用需要が弱く，入荷量は前年同月比で6%下回り，単価も6%下回った。</p>
<p>【果菜類】 キュウリ</p> <p>ナス</p> <p>トマト</p>	<p>宮崎，高知，福岡，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で10%下回り，単価は8%上回った。</p> <p>高知，岡山，熊本，福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で19%下回り，単価は10%上回った。</p> <p>熊本，福岡，京都を中心に入荷された。夜温の低下により生育状況が悪く，入荷量は前年同月比で4%下回った。また，月間を通じて量販の需要が弱く，単価も12%下回った。</p>

<p>ピーマン</p>	<p>宮崎，高知，茨城を中心に入荷された。上旬は潤沢な入荷であったが，中旬の曇天と夜温の低下により入荷量が前年同月比で12%下回った。入荷量の推移に伴い，上旬は単価安で推移し，中旬以降は単価高で推移したが，前年同月比で9%下回る結果となった。</p>
<p>【土物類】 バレイショ (メーカー含む)</p>	<p>鹿児島，北海道を中心に入荷された。北海道産の入荷減少により入荷量は前年同月比で14%下回った。また，量販の需要が弱かったため，単価も13%下回った。</p>
<p>タマネギ</p>	<p>長崎を中心に関西，佐賀，北海道から入荷された。入荷量は前年同月比で9%下回り，単価は55%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 生シイタケ</p>	<p>徳島を中心に広島，岡山から入荷された。減産影響及び集荷困難な状況が続いたため入荷量は前年同月比で12%下回り，気温上昇により引き合いが減退したため，単価も4%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	福岡，和歌山，愛媛，熊本から入荷された。天候不順による腐敗果等が生じたため，入荷量は前年同月比で19%下回り，単価は前年同月並みであった。
清見	和歌山から入荷された。入荷量は前年同月比で42%上回ったが，単価は12%下回った。
ふじ (サン含む)	青森から入荷された。産地の在庫が多く単価安となり，入荷量は前年同月比で22%上回り，単価は27%下回った。
イチゴ	福岡，佐賀，熊本，大分，長崎から入荷された。入荷量は前年同月比で9%下回り，単価は14%上回った。
アールス	静岡，高知から入荷された。生産面積の減少により，入荷量は前年同月比で13%下回り，高単価商材であるメロンを敬遠することもあり単価も19%下回った。
アンデス	熊本から入荷された。去年は地震の影響で入荷量は減少したが，本年は好天により前進傾向となり，前年同月比で61%上回った。また，秀品比率がやや高く単価高となり，単価は3%上回った。
大玉スイカ	熊本，高知から入荷された。入荷量は前年同月比で42%上回り，単価は5%下回った。